

平成29年

福祉文教委員会

9月14日

豊明市議会

# 福 祉 文 教 委 員 会 会 議 録

平成29年 9 月14日

午前10時00分 開会

午前11時37分 閉会

## 1. 出席委員

委員長	近 藤 千 鶴	副委員長	清 水 義 昭
委員	富 永 秀 一	委員	鵜 飼 貞 雄
委員	毛 受 明 宏	委員	早 川 直 彦
委員	近 藤 善 人		
議長	月 岡 修 一		

## 2. 欠席委員

なし

## 3. 職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

議会事務局長	石 川 晃 二	議事課長	鈴 木 美智雄
庶務担当係長	長 野 直 之	議事担当係長	水 野 美 樹

## 4. 説明のため出席した者の職、氏名

市 長	小 浮 正 典	副 市 長	坪 野 順 司
教 育 長	伏 屋 一 幸	健康福祉部長	藤 井 和 久
教 育 部 長	加 藤 賢 司	社会福祉課長	中 村 泰 正
高齢者福祉課長	小 川 正 寿	児童福祉課長	加 藤 育 子
児童福祉課長	樋 口 桂 子	保険医療課長	浅 井 俊 一
健康推進課長	二 宮 眞由美	学校教育課長	馬 場 秀 樹
学校支援室長	下 出 修 史	生涯学習課長	高 木 安 司
図 書 館 長	糸 和 広	高齢者福祉課長補佐	松 本 小 牧
高齢者福祉課長補佐	水 野 好 江	児童福祉課長補佐	深 草 広 治
保険医療課長補佐	伊 藤 克 代	学校教育課長補佐	後 藤 明 紀
生涯学習課長補佐	青 木 由美枝	生涯学習課長補佐	稲 熊 篤 子

## 5. 傍聴議員

後 藤 学	郷右近 修	近 藤 ひろひで	蟹 井 智 行
宮 本 英 彦	ふじえ 真理子	山 盛 さちえ	近 藤 郁 子

三 浦 桂 司      一 色 美智子

6. 傍聴者

一般傍聴者    1名

午前10時開会

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 皆さん、おはようございます。定刻に御参集いただき、ありがとうございます。

ただいまから福祉文教委員会を開会いたします。

会議に先立ちまして、市長より挨拶をお願いいたします。

小浮市長。

○市長（小浮正典君） おはようございます。

本日の福祉文教委員会に付託されました案件、5つの議案でございます。慎重な審査をいただきますようどうぞよろしくお願いいたします。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ありがとうございます。

続いて、議長が御出席でありますので、御挨拶をお願いいたします。

月岡議長。

○議長（月岡修一議員） 皆さん、おはようございます。

福祉文教委員会、議題、しっかりと御審査、よろしくをお願いいたします。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ありがとうございます。

これより会議を開きます。

お諮りいたします。市長並びに本日の議事に直接関係のない職員は自席待機といたしたいが、御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 御異議なしと認めます。

市長並びに本日の議事に直接関係のない職員は退席願います。なお、市長におかれましては、答弁を求める機会がある場合には出席をいただきますので、御承知おきください。

（関係職員以外退席をなす）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 本日の傍聴については、申し合わせに従い15名以内とし、委員長において一般傍聴者の入室を許可します。

（一般傍聴者1名入室）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 本日の議事につきましては、本委員会に付託されました案件につきまして、お手元に配付いたしました議題に従い会議を進めます。

なお、当局におかれましては、反問権を行使される場合は意思表示を明確にされ、論点を整理して反問されますようお願いいたします。

初めに、事前に提出していただきました資料要求書についてお諮りいたします。

議案第75号 平成29年度豊明市一般会計補正予算（第6号）について、早川委員から10

款 教育費 各小学校営繕工事費に係る資料請求がありました。

早川委員より資料請求の趣旨説明をお願いいたします。

早川委員。

○早川直彦委員 委員会における資料要求書の内容を説明いたします。

これ、9月4日に出したときは、まだ議案72号でしたので、そのままになっておりますので、よろしくをお願いいたします。

10款の教育費の各小学校営繕工事費900万8,000円なのですが、大宮小学校のパソコン教室を普通教室に変えるものです。900万8,000円のその工事費の内訳がわかる、何にどのようなものが使われるかわかる資料がまず1点。

改修は、広い教室となっておりますが、改修したときにどのようなレイアウトになるのか、それがわかる図面。

また、3つ目は、パソコン教室にエアコンが2台ついております。壊れてるわけではないんですが、使用も可能なんですが、取り外すことになっております。その経緯がわかる会議録なり、そういうやりとりがわかるものをお願いいたします。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 当局において補正予算審議前までに用意できますか。

馬場学校教育課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） 資料請求をいただきました工事費の内訳がわかる資料、改修工事の図面、こちらのほうは用意ができます。

なお、会議録につきましては、存在しておりませんのでお出しはできません。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） お諮りいたします。

本委員会として資料要求することに御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 御異議なしと認めます。

当局においては、補正予算審議前までに資料の用意をお願いいたします。

初めに、議案第70号 豊明市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正についてを議題といたします。

本案件につきまして、理事者の説明を求めます。

加藤児童福祉課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） それでは、議案第70号 豊明市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について御説明いたします。

この案を提出するのは、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準等の一部改正に伴い、必要があるからでございます。

今回の条例改正は、保育の必要性を認定した支給認定証の交付を保護者からの申請があった場合にのみ限ることとし、かわりに支給認定に係る事項を記載した通知書を保護者に交付するものです。

それでは、内容の説明をいたしますので、議案第70号参考資料をごらんください。

第8条中、「求められた場合は」の次に「必要に応じて」を加え、「支給認定証」の次に子ども・子育て支援法施行規則第7条第2項に規定する通知を加えるものです。

附則として、この条例は公布の日から施行するものであります。

以上で説明を終わります。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 理事者の説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

近藤善人委員。

○近藤善人委員 支給認定証というのがあるんですけども、これの記載内容がわかればお願いいたします。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁を願います。

加藤児童福祉課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） では、項目を紹介させていただきます。

支給認定番号とか、児童の氏名、生年月日及び保護者の氏名、生年月日、居住地、支給認定区分、保育の必要量、これは短時間か標準時間かの区分になります。保育を必要とする事由と有効期限。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 必要に応じてという形になる、今までは一律に出していたものが、保護者の申請があつて必要に応じてということになるんですが、そうすることによって行政側のメリットと保護者にもメリットがあるのかどうか、その辺、説明願います。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

加藤児童福祉課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） 実際は、運用的には特に変わるものではなくて、市が支給認定をしていくものですから、事業所にも名簿と詳細がわかるものが直接届く形になっ

ておりますので、この支給認定証そのものを1人ずつ各園で提示してるということは、実態としては今までもなかったもので、実務上はそんなに大きくは変わらないです。

あとは、紛失等でどうのこうという、そういったこともなくなるので、お互いに利便性が高まるというふうに思います。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 変わっても現状と全く今までどおりで、保護者の方が困るとか、慌てちゃうとか、そういうことはないということですね。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

加藤児童福祉課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） そのとおりです。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

近藤委員。

○近藤善人委員 他の自治体の状況などをつかんでおられたらお願いします。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

加藤児童福祉課長。

○児童福祉課長（加藤育子君） 一応状況を把握しておりますが、現時点で、豊明市が一番先行的に実施してると思います。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手願います。

（進行の声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

議案第70号については、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 御異議なしと認めます。よって、議案第70号については、全会一致により、原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議案第71号 豊明市老人憩いの家条例の一部改正についてを議題といたします。

本案件につきまして、理事者の説明を求めます。

小川高齢者福祉課長。

○高齢者福祉課長（小川正寿君） それでは、議案第71号 豊明市老人憩いの家条例の一部改正について御説明いたします。

この案を提出いたしますのは、本郷小規模老人憩いの家を廃止するために必要があるからでございます。

それでは、条例の説明を行いますので、1ページをおめくりください。

本郷小規模老人憩いの家を廃止するため、別表本郷小規模老人憩いの家の項を削るものがございます。

附則として、この条例は公布の日から施行するものとします。

以上で説明を終わります。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 理事者の説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

富永委員。

○富永秀一委員 豊明市公共施設白書2014を見ますと、その施設別カルテによると、市費の一般財源24万4,713円というふうに書いてあって、かかっているコストが。議案質疑のときには、削減できるコストが管理委託料9万7,200円だけということだったんですが、この数字の違いというのはどういうところから来るのでしょうか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

小川高齢者福祉課長。

○高齢者福祉課長（小川正寿君） 白書のほうは、老人憩いの家事業を、総額を27分割したような形で試算しているもので、今回は、本郷老人憩いの家に係るコストということで、9万7,200円が削減になったというようなお話をさせていただいたものでございます。

以上でございます。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 本会議質疑でもありましたが、平成28年度は利用者がなかったということでありました。今議会で承認された後は解体されていくと思うんですが、どのような流れになっていくのでしょうか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

小川高齢者福祉課長。

○高齢者福祉課長（小川正寿君） 条例の承認をいただきましたら、早速撤去の工事の手続に入りたいと思っております。工事業者が決まりましたら、順調にいけば年内には取り壊せるのではないかと考えております。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 たしか議案質疑のときに、28年度の利用はゼロだったということだったんですが、29年度入ってからもゼロということでもいいですか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

小川高齢者福祉課長。

○高齢者福祉課長（小川正寿君） ゼロでございます。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 公共施設長寿命化計画を見ますと、豊明市内には27、全部で小規模老人憩いの家があって、沓掛小学校区には8施設と多く存在すると。だから、更新時期に合わせて施設の廃止、存続の検討を行い、地元への移譲の検討を行う必要があるというふうに書いてあって、この施設は1977年に建てられたRCづくりであると、鉄筋コンクリートであるということ、RCづくりについては築35年で大規模改修の必要があるってことですから、もうその時期に入ってるということになるわけですが、そうすると、地元としてはこのまま移譲されても困るということで、利用もしないし壊してくださいということになったということでしょうか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

小川高齢者福祉課長。

○高齢者福祉課長（小川正寿君） 施設の老朽化が原因というよりは、地元の意向のところが大きかったと、地元の意向の中で廃止が決まってきたということでございます。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 地元の意向が出てきたのは、市がどうするかを問いただしたというか、尋ねたからではないんですか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

小川高齢者福祉課長。

○高齢者福祉課長（小川正寿君） 本郷老人憩いの家については、地域のほうからお話が

あって始まったことをございます。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 今回、27ある老人憩いの家の1つが利用がないということで取り壊しというふうになっておりますが、残りの26についても多分、それぞれの区に利用の実態調査とか話し合いをして、本郷が最初になくなるということなんです、ほかの部分の、あと26についても、今後譲渡とか、取り壊しとか、進んでいくんじゃないかなと思うんですが、現状はどのようになっているんでしょうか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

小川高齢者福祉課長。

○高齢者福祉課長（小川正寿君） 無償譲渡、もしくは取り壊しについては地域の意向をお聞きしておいて、取りまとめとしては、議会でもお話ししたとおり、無償譲渡を受けたというところは20カ所、そして、不要というところは、今回の本郷を含めて2カ所、検討中というところが5カ所でございます。

以上でございます。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 たしか老人クラブさんだと思いましたが、活動拠点が減るということで、市に対して要望が出てるとというのが山盛さちえ議員の一般質問の中でたしかあったような気がするんですが、ちょっとそれを踏まえて聞かさせていただきたいんですが、市はその27全体を調査して、今後、先ほど言った20が譲渡とか、2が廃止、5が検討中ということなんです、今後についても、利用がないところについてはもうやめてくという考えでいいのか。

また、ある意味、場所がなくなることによる活動の拠点が減るんじゃないかという心配の声もあるんですが、その部分は大丈夫なんでしょうか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

小川高齢者福祉課長。

○高齢者福祉課長（小川正寿君） まず、無償譲渡を受けるかどうかについては、利用が少ないというよりは地域の意向によるものというふうに考えております。また、場のところも、老人憩いの家は基本的には使っていただきたいというふうに思ってお話をしております。

それと、集会所等の補助金等も改正されたようですので、そちらも含めて活用いただければ減ることはないのではないかとこのように考えております。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 心配の声、各区もそうなんです、心配の声も多分あるんじゃないかな。私もちょっとどういうことなのというような心配の声も聞いてるんですが、説明の段階で十分伝わり切れてるのかどうかという心配もあります。ちょっと早急に進めてる感が、速いペースで進めてる感も私の中ではあるんですが、各区のほうに十分伝わり切ってるのかどうか。

心配な点でよく聞くのが、譲渡の後の維持メンテナンスのことや、やっぱり、先ほども富永委員からもありましたが……。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 早川委員に申しますけど、今回は、本郷の小規模老人憩いの家に関する議案ですので、それについての質問でお願いいたします。

○早川直彦委員 じゃ、簡潔に言いますが、十分、本郷だけじゃなく、全体的な中で、今回は本郷だということなんです、ちゃんと説明が、十分説明されてるんでしょうか。そこだけ確認したいですので、お願いします。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

小川高齢者福祉課長。

○高齢者福祉課長（小川正寿君） 区長会を通じてこのお話をさせていただいて、5年間をもって移行してくというようにお話をさせていただいております。検討中のところもございまして、5年間で最終結論を出してほしいというように話もさせていただいておりますので、逐次お話をさせていただこうと、御理解をいただこうというふうには思っております。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

近藤委員。

○近藤善人委員 本会議質疑のときに、解体というか除却に295万6,000円かかるというようにことだったんですけども、間違いはないですか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

小川高齢者福祉課長。

○高齢者福祉課長（小川正寿君） 本郷老人憩いの家の解体費用として予算計上を、そち

らをさせていただいております。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 近藤委員。

○近藤善人委員 建物の概要をお願いいたします。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

小川高齢者福祉課長。

○高齢者福祉課長（小川正寿君） 開設は昭和52年でございます、延べ床面積が93平米でございます。

あと、どういった……。

（平家、2階建てでの声あり）

○高齢者福祉課長（小川正寿君） 平家でございます。

（木造の平家の声あり）

○高齢者福祉課長（小川正寿君） RCでございます。

（RCの声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 確認みたいな感じになりますけど、先ほども申し上げたように、公共施設長寿命化計画に書いてあるとおりのことが今行われてるといふふうに解釈してたんですけど、先ほどの答弁だと、地元から先に出てきたようなことなんですけど、要するに区長会を通じて、こういう計画に沿って、今回老人憩いの家については5年間で考えてくださいよということを説明して、その返答ではないということですか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

小川高齢者福祉課長。

○高齢者福祉課長（小川正寿君） 本郷老人憩いの家については、先にこういったお話があったということでございます。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 もう一つ確認したいことがあるんですが、今回の本郷小規模憩いの家の廃止は、今検討してるアセットマネジメントとは全く関係がないものなのか、老人憩いの家自体はアセットの中には含まないということなんでしょうか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

小川高齢者福祉課長。

○高齢者福祉課長（小川正寿君） 再配置計画は、市長も申しましたとおり、今後20年、30年に大量に更新をする際に、縮充の考えをもって行ってくというものでございまして、老人憩いの家は27で、町内会は128ございます。ほとんどの町内会が老人憩いの家や集会所を持ってない状況もございます。老人憩いの家は、一部の高齢者だけが使うのではなくて、地域の集会所も含めて施設の活用をいただきたいということで、市内には空き家もあり、集会所補助金等も改正しておりますので、老人憩いの家の移管についてはコストを意識したのではないということでございます。

以上でございます。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 ということは、アセットとは全く関係ないということですよ。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

小川高齢者福祉課長。

○高齢者福祉課長（小川正寿君） そのとおりでございます。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手願います。

早川委員。

○早川直彦委員 議案第71号 豊明市老人憩いの家条例の一部改正について、賛成の立場で討論いたします。

本郷については、立派な集会所もあることで利用がないということで、やむを得ないのかなというふうには思っております。

質疑の中でもさせていただきましたが、27あるところで各区に相談をして、利用状況から譲渡、廃止ということを検討してほしいということで進められてる一番最初のものだと思います。

心配な点は、どうしても説明が十分、一生懸命やってると思うんですけど、各区の中で、そういう心配な声や、老人クラブさんもそうですが、活動の拠点が減るんじゃないかとか、心配の声が出てるのも確かに事実であります。

今後は、しっかり市のほうからその方針をしっかりと示して、不安を払拭するような形、これがなくなってもほかの方法もあるよというところをしっかりと示していただいて、理解を得て残す、やめるということを進めていただきたいことを要望して、賛成といたします。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

議案第71号については、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 御異議なしと認めます。よって、議案第71号については、全会一致により、原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議案第73号 平成29年度豊明市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）についてを議題といたします。

本案につきましては、既に本会議で浅井保険医療課長より提案説明を受けていますので、直ちに質疑に入りたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 御異議なしと認めます。よって、議案第73号は提案説明を省略し、直ちに質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

早川委員。

○早川直彦委員 歳入のほうは4ページ、5ページ、繰り入れのほうは職員給与繰入金129万6,000円増で、ページをはねていただいて、7ページのところが、その129万6,000円、これ、支出のほうは賦課徴収事業というふうになっておりますが、ぱっと見たときに、職員給料等の繰り入れが電算関係の委託料なのかなというふうに感じてしまったんですが、これはどういうふうに解釈すればよろしいのでしょうか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

浅井保険医療課長。

○保険医療課長（浅井俊一君） この節の区分のところを見ていただきますと、職員給与費等繰入金とございます。ちょっとネーミングの関係になってしまいますが、固まりとしましては、職員の給与費等の事務費全体を繰り入れしてもいい形になっておりますので、それぞれに当たってる部分ということになります。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 6、7ページの賦課徴収費、電算関係委託料ですが、一番上のところですけど、これは次期国保総合システムに合わせるためのシステム改修ということなんです

が、当初予算ではなくこの時期になったのはどんな理由からでしょうか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

浅井保険医療課長。

○保険医療課長（浅井俊一君） 当初の状態では、明確に仕様のほうがはっきりしておりませんで、そこを確認した上で、補正として上げさせていただきました。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手を願います。

（進行の声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

議案第73号については、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 御異議なしと認めます。よって、議案第73号については、全会一致により、原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議案第74号 平成29年度豊明市介護保険特別会計補正予算（第1号）についてを議題とします。

本案につきましても、既に本会議で小川高齢者福祉課長より提案説明を受けていますので、直ちに質疑に入りたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 御異議なしと認めます。よって、議案第74号は提案説明を省略し、直ちに質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

富永委員。

○富永秀一委員 これは6、7になりますかね。これは世帯員の誰かが市町村民税を負担している世帯については、これまでの上限月額3万7,200円から月額4万4,400円に引き上げられると。これに伴うことだと思いますが、これも8月に既に引き上げが行われているんですけど、厚労省からの通知が5月だったらいいんですけど、5月に通知して8月から引き上げというのは急過ぎると思うんですけど、この予算が通ってからの作業でも十分間に合うようにはなってるんでしょうか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

小川高齢者福祉課長。

○高齢者福祉課長（小川正寿君） 8月1日に施行をされているものでございますが、8月の請求分については、8月の利用分については10月に請求をされるという制度に介護保険上なっておりますので、今から議会が通った後で、処理としては間に合うということでございます。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手願います。

（進行の声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

議案第74号については、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 御異議なしと認めます。よって、議案第74号については、全会一致により、原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議案第75号 平成29年度豊明市一般会計補正予算（第6号）のうち、本委員会所管部分についてを議題といたします。

本案につきまして、理事者の説明を求めます。

浅井保険医療課長。

○保険医療課長（浅井俊一君） それでは、平成29年度豊明市一般会計補正予算（第6号）のうち、保険医療課所管分について御説明をいたします。

補正予算書の11ページ、12ページをお願いします。

最上段、3款 民生費、1項1目 社会福祉総務費の4 国民健康保険特別会計繰出事業129万6,000円の増額ですが、国民健康保険特別会計補正予算にて計上しております電算委託料の増額に伴い、一般会計から繰り出す事務費についても相当額を増額するものでございます。

以上で説明を終わります。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 小川高齢者福祉課長。

○高齢者福祉課長（小川正寿君） 続きまして、高齢者福祉課所管分の補正予算について御説明いたします。

引き続き、補正予算書の11ページ、12ページをごらんください。

3款1項2目 老人福祉費、右ページ、7 介護保険特別会計繰出事業、説明欄、事務費繰出金95万1,000円は介護保険特別会計の補正予算に計上しておりますもので、制度改正によりシステム改修を行うため、事務費繰出金を増額するものでございます。

以上で説明を終わります。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 馬場学校教育課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） 続いて、学校教育課所管分について説明をさせていただきます。

まず、歳出のほうから説明をさせていただきますので、補正予算書の13、14ページをお願いいたします。

上段をごらんください。

10款 教育費、1項 教育総務費の4億7,601万1,000円に129万2,000円を増額し、総額4億7,330万3,000円とするものです。

2目 事務局費、3 事務局事務事業の電算関係借上料76万円の増額は、小中学校に導入予定の校務支援ソフトの借上料、1カ月分でございます。

3目 教育振興費、1 教育振興事業の50万円の増額は、愛知県からのキャリアコミュニティプロジェクトの研究指定を受けたもので、内容としましては、市内3中学校において男女共同参画に関する講演会の開催を通して、生き方、働き方を学び、男女共同参画社会をつくろうとする生徒を育てることを目的とするものです。

続いて、下段をごらんください。

10款 教育費、2項 小学校費の3億2,073万2,000円に900万8,000円を増額し、総額3億2,974万円とするものです。

1目 学校管理費、1 小学校施設維持管理事業の各小学校営繕工事費900万8,000円の増額は、来年度から全学年が複数学級になる大宮小学校において普通教室が不足するため、パソコン教室を普通教室と準備室に改修するためのものでございます。

続いて、歳入の説明をいたしますので、補正予算書の5ページ、6ページをお願いいたします。

14款 県支出金、3項 委託金、6目 教育費委託金、1 教育振興費委託金50万円の増額はキャリアコミュニティプロジェクトの学校教育研究委嘱校委託金で、補助率は1分の1でございます。

以上で学校教育の所管の説明を終わります。

続いて、資料請求の部分を説明をさせていただきます。

資料請求につきましては、今後入札等を控えておりますので、お出しできる範囲で出さ

せていただいております。

まず、設計書につきましては、ホッチキスどめのものでございます。

続きまして、図面のほうです。こちらのほうは、パソコン教室に改修する前の図面がつけてございます。このような形に原状復旧をするものです。

以上で説明を終わります。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 高木生涯学習課長。

○生涯学習課長（高木安司君） それでは、生涯学習課所管部分について御説明申し上げます。

まず、歳出から説明します。

15ページ、16ページをお開きください。

最上段、10款4項4目 文化財保護費は129万2,000円の増額です。説明欄をごらんください。桶狭間古戦場伝説地改修工事は、桶狭間古戦場伝説地を通行される方が安心して通れるように、夜間照明を改善するために行うものです。これには、その他財源として寄附金を一部充当します。

また、下段、史跡看板設置工事費は、4月に市指定文化財として指定しました二村山にあります鎌倉街道に説明看板を設置するものです。

7目 文化会館費は606万8,000円の増額です。これは、老朽化により故障がちであります非常用放送設備改修工事に283万6,000円、大ホールの絞りどんちょうの修繕に302万9,000円、ギャラリーのスポットライトの増設工事に20万3,000円を計上するものです。

8目 青少年対策費は104万1,000円の増額です。これは、本年度2月から中央小学校で新しく開設される放課後子ども教室開設費用を計上するものです。

続きまして、歳入を説明します。

5ページ、6ページをお開きください。

最下段、16款1項1目 一般寄附金は10万円の増額です。これは、市内事業者から桶狭間古戦場伝説地整備のために役立ててほしいとして寄附を受けたものです。

以上で生涯学習課所管分の説明を終わります。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 理事者の説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑をされる方はページ数をお願いいたします。

質疑のある方は挙手願います。

早川委員。

○早川直彦委員 13ページ、14ページの下の10款2項の小学校費の各小学校営繕工事費900

万8,000円について聞かさせていただきます。

資料、ありがとうございます。大宮小学校の、今、パソコン教室には、こういうふう  
に2台エアコンがついております。はりのところにちょうどこういうエアコンがついた形  
になっております。私、これ、議案を見て、議案が出されたときにちょっと大宮小学校に  
行って、写真をちょっと、現場を確認したいなと思って。たしかエアコンがついてるんだ  
けど、パソコン教室にと、どうするんだろうというふうに思って、学校の関係者の方に説  
明を聞いたら、明確に、取り外す理由が、明確に答えられなかったです。資料請求させ  
ていただいたんですが、取り外す方向に決定したその経緯について説明していただけるで  
しょうか。これが壊れててもう使えないんだったらやむを得ないと思うんですが、まだ現  
状壊れても、古いのは確かですが、壊れていないのにエアコン2機外してしまうというふ  
うに至ったことについては、どういうふうにそういうふうになったんでしょうか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

馬場学校教育課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） 学校のほうの現場とは、設計を行う前ですので、ことし  
の3月ぐらいに、設計前に現場のほうの学校とは協議をする場を設けております。こちら  
のパソコン教室につきましては、図面にありますように、以前もともと普通教室と準備教  
室だったものを、平成11年に改修をして今現在の形になっております。こちらのほう、今  
ちょうど議員が申されたように、はりの部分に、ちょうどエアコンの吹き出し口の機械が  
ついておりますが、ちょうどこちらのほうには仕切りの壁をつくるという部分があって、  
いずれにしても、ここの部分の工事が必要になってまいります。

パソコン教室にしてから約18年経過しております。機器のほうも老朽化とかしております  
ので、そういった部分で、移設ですとかそういった部分に耐えられるかという部分の検討  
もさせていただいて、結果的に撤去をするという結論に至ったものでございます。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 確かに、はりの部分に2カ所ついてるんですが、図面でいうと、この1  
つのはりのところにちょうど壁が来て、今まで、もともとの教室に戻るんですが、もう片  
方のほうは取り外す必要もなく、移設、1台は確実に、残そうと思えば、何もしないで残  
せるはずなんですよね。外はガラス、壁がないですので、ガラスの部分から屋根の上にエ  
アコンの室外機が置いてあるんですが、これ、別々になってるはずですので、容量が大き  
いから。最低限1つはそのまま残しとくことは可能だと思うんですが、それでも取り外す

ということなんでしょうか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

馬場学校教育課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） 先ほど申したように、2つあるうちの必ず1つは移設しなければならないという部分と、あと、設置後18年経過をしているという中で、今後普通教室として長く、また、準備室として長く今後も使っていく前提で取り外すという判断をしたものでございます。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 早川委員。

○早川直彦委員 壊れていればやむを得ないんですが、壊れてから予算立てて外しても、1つはさわらなければ、それは執行残になるわけですので、2つの部分が、残してもさほど問題がないんじゃないかなと。使えるものを外すということは、これはもったいないので、その辺はどういうふうに解釈すればいいんでしょうか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

馬場学校教育課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） 基本的には、メーカーのほうにも確認をさせていただいて、設置後かなり経過してる機種にもなります。今後のメンテナンスですとかそういったところも十分手当てのほうはできないという、そのような御返事のほうもいただいた上で判断をさせていただいたものです。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかに。

じゃ、清水委員。

○清水義昭委員 確認なんですが、屋内に室内機が2つあって、室外機も2つありますか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

馬場学校教育課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） 失礼しました。室外機は1つのシステムです。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 つまりは、室外機が1個だから、独立してないので撤去しないといけな、そういった感覚でいいでしょうか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

馬場学校教育課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） もともと室外機が1つで、2つの室内機を動かすようなシステムが組み上げられているということで、それを、例えばプログラムを変えたりだとかというのはメーカーのほうとしてはもうできないという、そのような返事でございます。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 そのエアコンについて、室外機が1個であっても室内機を1個だけ残すということは可能だと思いますし、また、コントローラーも2つあって、その手前側が該当する、残しても別に問題がないほうなので、こっちだけ使うということは別に問題がなくていいはずなんですよね。

なので、恐らく配線の工事なども必要はないと思うんですが、例えばそのエアコンを残して、同じように、普通の教室と同じように授業のときに使ってしまうと、それはすごく不公平が出ると思うんですが、例えば夏休みの期間中に、ことしはちょっと工事の関係で5月に運動会やりましたが、普通は秋にやっているものですから、金管の練習を、例えばそこで夏休みの期間にやるときに窓を閉めて練習できるようにするとか、そういう特殊な使い方、特別な使い方のために残しておくというのは方法としてあるのかなと思うんですけど。撤去するにもやっぱり費用が要りますから。という考え方はないですか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

馬場学校教育課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） こちら、先ほども申しましたように、もともと2台の室内機を動かすために設置された室外機システムということですので、1台のみ残して運用可能かどうかというのはもうメーカーのほうでは一切検証もされておられませんし、仮に動くことができて安全性は保証できないという、そのような回答をいただいております。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

関連。

近藤委員。

○近藤善人委員 14ページが一番上なんですけども、校務支援システム、本会議質疑でもあったんですけども、これ、金額からすると、多分、統合型の校務支援システムだと思うんですけども、この処理できる業務、教務系とか学籍系とかいろいろあると思うんですけども、それをお願いします。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

（ゆっくり、済みません、お願いしますの声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 馬場学校教育課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） まず、こちらのほうを今回利用できるようになる内容といたしましては……。済みません。まず、連絡機能としての掲示板を持っております。あと、成績機能として、学籍の管理、出席簿、成績処理、連動しての通知表、指導要録、給食実施簿などを処理する機能を有しております。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

関連ですか。

（関連ですの声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 近藤委員。

○近藤善人委員 健康診断とか、保健室とかの関係は入っていないということでしょうか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

馬場学校教育課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） 今現在、別のシステムを使っておりますので、今回の校務支援ソフトの中にはそのような資料は含まれておりません。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 今のところですけども、これについては3者から提案を受けて、ソフトの選定については、ソフトについては提案を受けて選択されたと。金額については、1者から見積もりを取っただけということだったと思いますが、これは恐らく全国的に名の通ったソフトウェアだというふうに思うんですけども、そうすると、こういうどこから購入しても同じもので、金額が大きいものについてはサポート体制がしっかりしていることを条件にした上で、一般競争入札にするのがふさわしいのではないかと思います。どのような入札を考えてますか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

馬場学校教育課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） 入札におきましては長期継続契約の部分ですので、最終的な入札というのは、使用料に関するリース会社の入札で予定をしております。その前につきましては、通常はまず機種を選定させていただく業務と、そこを……。

(したでしようの声あり)

○学校教育課長（馬場秀樹君） ごめんなさい。

(ソフトはもう決まったんでしようの声あり)

○学校教育課長（馬場秀樹君） 済みません。指名競争入札でさせていただく予定です。

(指名なの声あり)

○学校教育課長（馬場秀樹君） はい。失礼しました。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 今申し上げたように、そういう仕様が決まっていて、どこで買っても同じものについては一般競争入札にすればいいんじゃないかと思ったんですが、指名競争入札を選ばれる理由は何ですか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

馬場学校教育課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） 指名競争入札にさせていただく理由というのは、この地域の部分、特に豊明の部分で、すぐに対応できる、そういった業者さんのほうを指名したいということでございます。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

関連。

(これではないですけど、1個前の関連ですけどの声あり)

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） じゃ、近藤委員。

○近藤善人委員 国のほうは、このシステムを2020年度までに全ての自治体に導入することを目標としているんですが、そういうことに関しては早目の導入ということで評価するんですけども、この導入の経緯とその効果についてお願いします。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

馬場学校教育課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） 導入をした経緯ですけども、今現在、内製のシステムを使ってやっておるわけですけども、来年度から学習指導要領のほうが改訂になりまして、新たに道徳ですとか、今後英語という教科がふえてまいります。内製のシステムではもうそちらのほうに対応ができないという部分です。一番の大きな理由は、今のシステムが使えないという部分で今回の導入でございます。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

（効果の声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 効果を、課長、お願いします。

○学校教育課長（馬場秀樹君） 効果につきましては、例えば今までは内製システムでしたので、例えばふぐあいが生じた場合の対応ですとかというのはもう限られた人でしかできなかった。あと、そういう意味では、今回は市販のものを入れることによって、対応のほうは素早く全小中学校に対してできるという部分。あとは、もう一点は、セキュリティー対策の部分でもしっかりしたものを購入できるのではないかと、そのように考えております。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

近藤委員。

○近藤善人委員 私の一番のこの導入の目的というのは教員の負担軽減だと思うんですけども、その辺の答えがなかったので、その辺はどう思われてるのでしょうか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

馬場学校教育課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） 今回、今の内製システムにはない掲示板機能、こちらのほうを有しておりますので、例えば情報共有に関してですとか、あと、職員会議の時間短縮、打ち合わせの時間短縮というのがメリットとしては考えられます。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 大宮小学校に戻ってよろしいでしょうか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） どうぞ。

○早川直彦委員 エアコンの件はわかったんですが、準備室のほうについて聞かせてください。

この写真のこのあたりに、今タブレットの機械のサーバーがたくさん置いてあるんですが、これを多分大宮小学校の場合はこの準備室の中に置く考えみたいだそうです。サーバーを狭くなったところに置くことによって、熱とか大丈夫なのか。換気扇をつけたりとか、何か対策はするのかと思うんですが、その辺の心配は大丈夫ですか。特に3階の一番暑いところですので、その辺はどのように対策するのでしょうか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

馬場学校教育課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） メンテナンスには十分気をつけてまいりたいと思います。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 今までは部屋が通常の教室よりも広がってて、その部分では大丈夫、熱には大丈夫だとは思いますが、狭くなれば夏休み誰も入らず、準備室となれば戸は閉めっ放しになると思うんですが、その辺は学校と協議されたりとか、サーバーを管理してるメーカーさんからこれぐらいでも大丈夫だというのは確認とれてるのでしょうか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

馬場学校教育課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） 必要であれば学校と協議して、サーバーそのものの保管場所、そこからもまた検討してまいりたいと思います。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 今、もともとが2つの部屋だったのをまた2つに戻すわけですが、その壁については、例えば小学生が当たっても問題ないぐらいの、要するにもとあった壁ぐらいの頑丈なものにする予定なんですか。それとも簡易的なものなんですか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

馬場学校教育課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） 基本的には原状復旧ですので、従来の教室と同じような構造を持った、強度を持った形で復旧する予定です。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 また、廊下側について、今、板が張ってある状態なわけですが、もともとはそこに扉と窓もあったんですが、それ、今回板を剥がすだけですか。それとも、ほぼ新たにまた扉や窓をつくるぐらいの工事になりますか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

馬場学校教育課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） 基本的には、今、窓を塞いだような形で壁がつくってございますので、基本的には、今の壁を剥がして、従来使えるものに関してはそのようなもので復旧をしていく予定です。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 予算上はどちらで見込んであるのでしょうか。ほぼ、結構使えるものは使えるようなことを見込んだ予算になってるんですか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

馬場学校教育課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） 基本的には、最初改修したときには、今の壁の下の部分は撤去はしてない部分がたくさんあると思いますので、基本的にはそれを、例えば塗装したりですとか、修理して使う予定をしております。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 パソコン教室だったので、パソコンラックとか附属品がかなり廊下に置いてあったりとか、実際のところするんですが、そういうものも、学校で要らないものもこの予算の中で撤去するということによろしいのでしょうか。そのまま残っちゃうと、廊下を違うものが占領してるというような形に今捉えているのか、その辺はどういうふう考えるのでしょうか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

馬場学校教育課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） 今回の改修費用の中に、そういった従前の備品の撤去費とかというのは基本的には見込んでおりません。これから出てくる備品に関しては、当該学校である大宮小学校と、あとほかの小中学校と協議しながら処分なり、移設なりを考えたいと思います。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 ページ6のところにある寄附金なんですが、メーンは15、16のほうなので、15、16のほうで見てもらったほうがいいんですけど、文化財保護事業の桶狭間古戦場

伝説地改修工事、照明設備改修工事ですけど、これ、寄附があって、さらに予算をつけてやりましょうということになったのか、それとも、もともとの時期に補正を組んでやる予定だったところに、せっかく寄附があったしということで、そこで使わせてもらおうということになったんでしょうか。どちらですか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木生涯学習課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 市長への手紙で、近隣の住民の方からやっぱり通路が暗いということが言われておりました。やる予定でおりましたが、このたび7月に寄附をいただきましたので、それを充当させていただくということになりました。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 今ある暗いライト、それをLEDで明るくするという事なんですが、これ、真っ白のものにすると結構雰囲気が壊れてしまう可能性もあると思うんですが、照度はあってもオレンジ色のLEDというのものもあるわけですけど、そういうものにする予定なのか、それとも本当に真っ白の明るいものにしてしまう予定なのか。どうですか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木生涯学習課長。

○生涯学習課長（高木安司君） その辺が難しいところなんですけど、今回は安全に通れるようにということで、一応白の、白色のLEDを考えております。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 早川委員。

○早川直彦委員 15、16ページの関係に当たるんですが、これ、桶狭間の古戦場の改修も、史跡の看板の設置も、どちらかというともまち・ひと・しごとの創生戦略に関連もあるのかなというふうには思えるんですが、それとは全く関係なしなんでしょうか。地域では活性化というのも含めたまち・ひと・しごとだと思ってるんですが、そういう部分では国からの予算はとれなかったんでしょうか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木生涯学習課長。

○生涯学習課長（高木安司君） これは、あくまでも私どもがやっております史跡の整備の一環としてやりますので、そういった形ではございません。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 15、16でしたかね、その1個下の、今度は史跡看板設置費、工事費のほうですけど、これ、実際に見に行くと、ちっちゃいんですけど、一応鎌倉街道とはというのが、説明があるんですよ、ついてるんですね。一応そこに説明書きもあるんですけど、今回はそれとはまた別につくるということだと思んですが、どんなものを想定しているんでしょうか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木生涯学習課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 現場には小さいのがあるんですけど、もう少し見やすく、どこからどこまでとかいう記述もないものですから、そういったものも図示しながら、絵などを入れながら、わかりやすいやつを考えております。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 委員の皆さんにお尋ねしますが、まだ質疑は、補正、ありますでしょうか。

（若干の声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） あります。

じゃ、ここで、会議の途中でありますが10分の休憩をいたします。

午前 1 1 時 休 憩

午前 1 1 時 1 0 分再開

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

質疑のある方は挙手を願います。

早川委員。

○早川直彦委員 15ページ、16ページの上の段の文化会館の維持管理事業について、606万8,000円について聞かせてください。額は小さいんですけど、ギャラリースポットライトをつけるということになりましたが、これは廊下にある絵を、レールをつけたところのそれを、絵を飾ったりするところをスポットを当てるといったものなんでしょうか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木生涯学習課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 今ギャラリーは長方形ですので4面ありますけど、2面部分についてはスポットライトがついております。あと2面部分につきましてスポットラ

イトがなくて、そこも展示スペースとなっておりますので、展示される方の要望で、暗いということで、今回これを計上させていただきました。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 市はよく受益者負担のことを言われるんですが、そこを使わせていただきたいと、20万とはいえ市費を使って目立つようにするわけですが、受益者負担の観点というならば、その絵を飾るには、最低限の使用料をいただいても。そういう検討はされているのでしょうか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木生涯学習課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 受益者負担としては使用料を取っておりますので、その一環で、施設の改善という意味で今回つけさせていただきました。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 ライトをつけることによって値段を変えるとかという検討もされると思うんですが、料金はそのままなのでしょうか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木生涯学習課長。

○生涯学習課長（高木安司君） その予定はありません。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 料金は現行のままということによろしいでしょうか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木生涯学習課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 失礼しました。そのとおりでございます。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

毛受委員。

○毛受明宏委員 15、16ページの放課後子ども教室ということですが、中島集会所ということになっておりますけど、ここを選んだ理由からまず教えてください。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木生涯学習課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 議場でも部長のほうから説明があったかと思いますが、当然ここ、一番のマンモス校でありまして、当然余裕教室も調べましたが余りありません、ほとんど。付近を探しておったところ、中島区のほうから貸してもいいよということでしたので、今回ここになったわけでございます。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 毛受委員。

○毛受明宏委員 集会所の前に利用掲示板というか、ホワイトボードで何時から何時まではということを書いてはあるんですけど、その中見てみると影響はないのかなとは思いますが、しかしながら、1つだけ何か4時ぐらいまで使ってる団体もあるということで、その辺の調整というのはうまくいってるんでしょうかね。

それと、あともう一つが、これは改修とかは一切ないですよ。そのままを使うということですね。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木生涯学習課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 既に中島区とは調整に入っておりまして、水曜日だけは特定団体が入っておるので避けていただきたいということと、今言われましたように、そのまま使えますので、改修費用は入っておりません。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 関連で質問させていただきますが、最初の説明でも中央小学校は余裕教室がほとんどない、ないわけではないと思うんですが、一番の理想はやはり小学校でできるというのが理想なんですが、例えば1階の部屋を、どこかを移動して何とか余裕教室を工面というのはできなかったんでしょうか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木生涯学習課長。

○生涯学習課長（高木安司君） いろいろ検討しましたが、できませんでした。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 中島集会所さんでやることになるんですが、移設の費用はかけずという

ことは、将来的に中央小学校も人数が減ってくという予想にはなってるんですが、人数が減ってきて部屋に余裕が出れば、また小学校でやるという考え方なんでしょうか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木生涯学習課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 学校につくってしまうと、今言われたように児童数の増減によって大きな影響を受けるかと思いますが、今回既設の施設を使うということで、もし余裕教室ができれば学校でやるというのが一番だと思いますので、そういうことも考えていきたいと思っております。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 中島集会所様のところを使わせていただくんですが、事務机とか書庫などの備品も購入するとあるんですが、そうすると、それを置く場所というのが中島区の集会所の中で必要となるんですが、その辺、置き場が、結構そんな小さなものじゃないんですが、そういう部分で実際迷惑というのか、使い勝手が悪くなるとか、その部分は話し合いを済まして置けるスペースを確保してるんでしょうか。

あと、教室を開くときに、一部屋だけ使うのか、二部屋使うのかというのはどのようになっているんでしょうか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木生涯学習課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 備品につきましては、今、先ほども御説明しましたとおり、1団体しか今使っておりませんので倉庫やなんかもかなりあいておりますので、中島区からは、入る分については入れていただいて結構ということ聞いております。

あと、済みません、もう一つの……。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 一部屋か二部屋使うか。

○生涯学習課長（高木安司君） 二部屋使わせていただきます。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

近藤委員。

○近藤善人委員 金額はすごいちっちゃいんですけど、通信運搬費、これ、詳細が携帯電話と書いてあるんですけども、これ、固定電話を引かずに携帯でやるということでしょうか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木生涯学習課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 携帯電話で対応させていただいています。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 13、14のところの真ん中のほうですけど、教育振興事業の50万ですけど、これは県の事業ということで、魅力あるあいちキャリアプロジェクトということですけど、これ、愛知県教育委員会の説明を見ると、中学2年生での職場体験学習を核とした中学校1年生から3年生までの系統的なキャリア教育を実施し、望ましい勤労観、職業観の醸成を図るとありました。

今回は、3中学校でそれぞれ1回ずつの講演ということなんですが、これはこのプロジェクトの狙いにぴったり合ってるんでしょうか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

馬場学校教育課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） 今回は、各中学校で講師による講演を受けるわけですけども、先ほどもお話があったように、この講演を受けて、例えば職場における男女共同参画のあり方ですとか、そういったところの予備知識を得てから、実際にはそれを職場体験に生かしていただくと。

今後の自分のキャリア教育の中で、そういった男女共同参画ですとかそういったものを意識しながらキャリア教育につなげていただきたいという、そういう趣旨でございます。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 そうすると、職場体験学習はまた別の年に、これ、複数年のプロジェクトになっているので、別の年にやるということでもいいですか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

馬場学校教育課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） 職場体験のほうは毎年行っているもので、今回はこちらのキャリアプロジェクトを受けて、職場体験の前に全学年講演を受けるという形になります。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 先ほどの中川の集会所の続きで……。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 中島。

○早川直彦委員 済みません、間違えました。中島の集会所でお願いするんですが、せっかく地域の集会所を利用するということで、地域の方、今もボランティア募集してるんですが、地域の方のボランティアの募集とか、地域活動の一環で協働して何かやるとか、そういうことも検討してくのでしょうか。

また、せっかく子どもたちの交流の場、たしか30人の定員だということで、その周知のほうもどういふふうにされてくのでしょうか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

高木生涯学習課長。

○生涯学習課長（高木安司君） 当然、地域で子育てをするというのが基本ですので、今言ったように、そういった形も進めていきたいと考えております。あとは……。

（周知の声あり）

○生涯学習課長（高木安司君） 周知は、当然学校のほうにチラシを配布いたしまして募集する予定でございます。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手願います。

早川委員。

○早川直彦委員 議案第75号、平成29年度豊明市一般会計補正予算書（第6号）については、賛成の立場で討論いたします。

資料請求、まことにありがとうございました。エアコンについては17年ですか、古いとメーカーさんも対応しない、10年以降のものは基本的に対応しないような方針があってやむを得ない部分もあるのかなというところがあります。

大宮小学校、ボランティアで私もかかわっておりますので、3階にパソコンのラックがいっぱい廊下に並んでる状況であります。ちょっと大宮小学校、榎山台が完成してもう何年かたつんですが、その効果で、全て来年から2クラスになります。余裕教室もないような、小規模学校でありながら余裕教室がない満タンの状況になりますので、備品の関係で

どうしても廊下にはみ出してしまうようなものは、ほかの学校で引き取っていただけるものがあれば引き取ってもらったりとか、安全に活用できるようにいただきたいことは要望いたしますので、よろしくお願いします。

また、中島集会所の放課後子ども教室なのですが、理想は小学校でできるのが理想です。どうしても今はできない。将来的に人口動態で小学校でできるようになれば速やかに小学校のほうでやっていただきたいのと、せっかく地域で行事をするわけですので、やはり地域の中で子どもたちがいろんな方と接する機会になると思いますので、そこも市のほうが中島区のほうに問いかけして、いろんな行事に参加してもらったりとか、顔を覚えてもらってということも積極的にしていただきたいと思います。

ほかの部分もありますが、本会議場で討論いたしますので、これで終わります。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

毛受委員。

○毛受明宏委員 議案75号、豊明市一般会計補正予算（第6号）について、賛成の立場で討論しますが、今、早川委員がほとんど言ってくれたものですから、一言申し上げるのが、中島集会所の件なんですけど、やはり集会所という、機能は集会所ですので、やはり中島区のほうと、今後いろんな利用方もふえる可能性もあるということですので、しっかり調整していただくことと、学校からは多分先生がついていって、集会所まで連れてってくれると思いますけど、やはりあの道路、結構通りが多いですから、その辺の交通安全のことはしっかり考えていただくということをお願い申し上げまして、賛成の討論とします。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

近藤委員。

○近藤善人委員 議案第75号、当委員会所管部分について、賛成の討論をします。

校務支援システム導入については、先ほども言いましたけども、国のほうは2020年までに全ての自治体にシステム導入の目標を掲げています。そういった意味では、早期の導入は大変評価いたします。導入による効果を検証し、教職員の負担を軽減し、子どもと向き合う時間の確保ができるようなシステムの運営を要望して賛成といたします。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 議案第75号、一般会計補正予算書（第6号）の討論ですが、賛成の立場で、ただ3つだけ指摘をさせていただいて、賛成といたします。

1つは、桶狭間古戦場伝説地の照明ですが、これ、地元から安全上の不安の声があってということではありますが、いざ真っ白の光をつけると、これでは雰囲気が悪いの

ではないかという、逆に地元のほうから声が出てまた直すというようなことにもなりかねませんので、実際に入札や工事に入る前に、色については地元の意見もちょっと聞いてみたほうがいいのではないかなと思います。

それともう一つ、校務支援ソフトについては、地元を大事にというのわかりますが、またサポートについての心配もわかりますが、サポート体制については、例えば名古屋であっても、すぐ隣ですので、すぐに支援に来ることはできますので、そういう体制が整ってさえいれば、総額で5,000万円近い事業ではありますので、これについては一般競争入札も考えてはどうかなというふうに指摘をしておきます。

それから、エアコンについては、実際きのう行って確かめてきましたが、片方だけつけて運転をしても全く問題はありませんでしたし、学校の意見も聞いた上で、取り外すにはやっぱりそれなりの費用がかかるわけですから、残すほうがコスト削減にはなりますので、そのあたりも地元といいますか、学校の意見も聞いてまた判断してもらえればいいのではないかなと思います。

以上で賛成といたします。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

議案第75号のうち、本委員会所管部分については、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 御異議なしと認めます。よって、議案第75号のうち、本委員会所管部分については、全会一致により、原案のとおり可決すべきものと決しました。

これより陳情の審査に入ります。陳情と関係のない職員については自席待機としたいが、御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 御異議がありませんので、陳情と関係のない職員については自席待機といたします。

（関係職員以外退席をなす）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 陳情第2号 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情を議題といたします。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 本陳情について、当局より状況等説明できることが

あればお願いいたします。

馬場学校教育課長。

○学校教育課長（馬場秀樹君） 特にございません。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 陳情でありますので直ちに質疑に入りますが、当局はないということですので、質疑は……。

（発言する者あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 当局は質疑に対してわかる範囲でお答えをお願いいたします。

質疑のある方は挙手を願います。

近藤委員。

○近藤善人委員 義務教育費国庫負担制度の国庫負担比率が2分の1から3分の1になったことで、どれぐらいの金額がマイナスになったか、わかればお願いします。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁できますか。

加藤教育部長。

○教育部長（加藤賢司君） 国の予算のお話でございますので、県とか市とかは全く関与しておりませんので、承知をしておりません。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

富永委員。

○富永秀一委員 今、国庫の負担率が減ったということで、自治体の財政に影響があるということを指摘されてるわけですので、全く影響がないというのは回答としてどうかと思いますが。影響として、国庫の負担が2分の1から3分の1に下げられたことによる影響額の質疑ですので、それは答えられるのではないかと思います。どうですか。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 答弁願います。

加藤教育部長。

○教育部長（加藤賢司君） まず、今のお話しの仕組みのお話ですけれども、豊明市の教員は県の教員が務めております。県の教員の給与については県が持つわけですけれども、そちらに対しては国費が入っております。それが2分の1から3分の1に落ちたということですので、財政的な部分は県だと思います、苦しいということでは。県の職員でありますので。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございませんか。

(進行の声あり)

○福祉文教委員長(近藤千鶴議員) 以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手願います。

近藤善人委員。

○近藤善人委員 それでは、陳情第2号について、採択の立場で討論します。

この陳情の趣旨は、国に対して十分な教育予算を確保することと理解しております。日本の教育にかかる予算は、国内総生産、GDPに対する割合では、デンマークの7.5%と比べると半分以下の3.6%と、先進国中最低レベルです。反対に、軍事費支出は、対国内生産比2.8%でトップから8番目です。イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、シンガポールなどは、義務教育費、教職員について給与費の全額を国が負担しております。全ての子どもたちに行き届いた教育をするためにも、定数改善計画の早期策定と実施、義務教育国庫負担制度堅持・拡充は重要で、採択といたします。

○福祉文教委員長(近藤千鶴議員) ほかにございませんか。

早川委員。

○早川直彦委員 陳情2号に関して、採択の立場で討論いたします。

陳情の趣旨のその真ん中に、少人数学級は、保護者、県民からも一人一人の子どもにきめ細かな対応ができるというふうに書かれております。確かに、少人数クラスというものは教育の観点からも、先生たちの負担からも効果が高いというのは認識しておりますので、国に対してさらなる拡充を求めるということは必要であると思っておりますので、採択といたします。

○福祉文教委員長(近藤千鶴議員) ほかにございませんか。

(進行の声あり)

○福祉文教委員長(近藤千鶴議員) 以上で討論を終結し、採決に入ります。

陳情第2号は採択すべきものと決することに御異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○福祉文教委員長(近藤千鶴議員) 御異議なしと認めます。よって、陳情第2号は全会一致により採択すべきものと決しました。

続いて、陳情第6号 私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するため市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情を議題といたします。

本陳情について、当局より状況等で説明できることがあればお願いいたします。

加藤教育部長。

○教育部長(加藤賢司君) 豊明市における私立高校に対しての授業料助成の陳情という

ことをごさいます。まず、豊明市も助成をしておりますので、その現状をお話ししたいと思ひます。

授業料の助成につきましては、保護者の方の所得に応じて授業料の支援をしております、最大5万円の支援をしているところであります。

あと、こちらのほうについての拡大というお話でございますけれども、実は、愛知県下、いろいろな市町がそういう政策をとっておるわけですが、県内でも私ども、5万円というのは、割と上位のところにおる団体でありまして、そういう意味でいいますと、ある程度、拡充はある程度しておるといふふうに判断をしておりますので、現状においては5万円が適切なのかなというふうな判断をしております。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 陳情でありますので直ちに質疑に入りますが、当局は質疑に対してわかる範囲でお答えしていただきたいと思ひます。

質疑のある方は挙手願ひます。

（進行の声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手願ひます。

早川委員。

○早川直彦委員 陳情第6号、私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡大を求める陳情に対して、採択の立場で討論させていただきます。

私立高校の負担軽減に対しては、国も県も私立高校の、現状でも補助をしております。当市においても上限5万円、これは県内でも上限5万円は高いほうではありますが、依然として、私学を選ぶ立場からいうと、まだまだ公立と比べれば格差が大きいのかなと。この陳情の中にも私学選択の自由ということが書かれてるんですが、私学の選択肢もやっぱり若い方に、意気盛んの若い皆さんに推進という部分でも、やっぱり経済的な支援は必要だということで、これは採択といたします。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ほかにございせんか。

（進行の声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

陳情第6号は採択すべきものと決することに御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 御異議なしと認めます。よって、陳情第6号は全会

一致により採択すべきものと決しました。

続いて、陳情第7号 愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情を議題といたします。

本陳情について、当局より状況等で説明できることがあればお願いいたします。

加藤教育部長。

○教育部長（加藤賢司君） 特にありません。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 陳情でありますので直ちに質疑に入りますが、当局は質疑に対してわかる範囲でお答えいただきたいと思います。

質疑のある方は挙手願います。

（進行の声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手願います。

（進行の声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

陳情第7号は採択すべきものと決することに御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 御異議なしと認めます。よって、陳情第7号は全会一致により採択すべきものと決しました。

続いて、陳情第8号 国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情を議題といたします。

本陳情について、当局より状況等で説明できることがあればお願いいたします。

加藤教育部長。

○教育部長（加藤賢司君） 特にありません。

以上です。

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 陳情でありますので直ちに質疑に入りますが、当局は質疑に対してわかる範囲でお答えいただきたいと思います。

質疑のある方は挙手を願います。

（進行の声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手願います。

（進行の声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

陳情第8号は採択すべきものと決することに御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） 御異議なしと認めます。よって、陳情第8号は全会一致により採択すべきものと決しました。

以上で、本委員会に付託されました案件の審査は全て終了いたしました。

お諮りいたします。委員会報告書については私に一任願えますか。

（異議なしの声あり）

○福祉文教委員長（近藤千鶴議員） ありがとうございます。

本委員会報告書については例に従い提出させていただきます。

御審査、御苦労さまでした。これにて福祉文教委員会を閉会いたします。

午前11時37分閉会